

～12月議会定例会冒頭挨拶～（平成30年12月3日）

平成30年第5回定例会を開催するに当たり、一言御挨拶申し上げます。

寒さ厳しき折、12月議会を招集しましたところ、師走のお忙しい中にも拘らず御参集いただき、御審議賜りますことに厚くお礼申し上げます。

早いもので、平成30年も、後わずかになりましたが、今年も例外なく、全国各地で未曾有の大災害が数多く発生した年となり、たくさんの方々が被害に遭われ犠牲になりました。

改めまして、心からのお見舞いとお悔やみを申し上げる次第でございます。

私たちが住む日本の国が、世界有数の災害大国であることを改めて実感させられる思いであります。

私も、職員共々、気を引き締め、できうる限りの施策を講じながら、引き続き、町民の皆様へ「自助」「共助」の重要性を訴え、自分の命を守るため積極的な行動をとる意識と、共に助け合う、“お互い様”という意識の醸成に努め、「安心して暮らせる町づくり」に注力していきたいと思っております。

（提案理由等、詳細につきましては、当HP町政欄議会会議録をご覧ください。）